

令和3年度 決算報告

令和3年度の決算が町議会9月定例会議で認定されました。決算の概要からみた町の財政状況についてお知らせします。



令和4年3月に完成した大橋の木製上屋

特別会計の決算の状況

区分	歳入	歳出	差引	
国民健康保険	9億2,228万円	9億889万円	1,339万円	
農業集落排水	2億846万円	2億321万円	525万円	
後期高齢者医療	8,147万円	7,747万円	400万円	
国保葛巻病院	収益的	10億5,402万円	10億8,403万円	△3,001万円
	資本的	4,908万円	8,790万円	△3,882万円
水道	収益的	1億6,949万円	1億9,169万円	△2,220万円
	資本的	8,200万円	1億4,190万円	△5,990万円

基金および地方債現在高の状況

▶基金年度末現在高（積立金）

基金区分	年度末現在高	年度中増減
財政調整	8億1,928万円	1万円
町債減債	9億975万円	2億8,194万円
地域づくり振興	9億7,197万円	1億2,221万円
公共施設等整備	33億7,588万円	1億7,327万円
その他	3億1,921万円	2,430万円
全基金合計	63億9,609万円	6億173万円

▶地方債年度末現在高（借入金）

会計区分	年度末現在高	年度中増減
一般	94億5,882万円	8億643万円
農業集落排水	11億1,170万円	△6,207万円
国保葛巻病院	25億5,573万円	△6,812万円
水道	14億9,141万円	△9,050万円
全会計	146億1,766万円	5億8,574万円

財政健全化法に基づく指標の公表

令和3年度決算における財政健全化法に基づく各指標は、いずれも法に定められている基準を下回りました。

▶健全化判断比率

各指標(早期健全化基準)	R3	R2	比較
実質赤字比率(15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率(20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率(25%)	8.3%	8.4%	0.1%削減
将来負担比率(350%)	なし	5.5%	皆減

一般会計の主な使いみち

◆総務費

- 新庁舎等建設事業……………10億8,133万円
- サテライトオフィス整備工事……………1億1,500万円
- 町66周年記念事業……………500万円

◆民生費

- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金……………9,830万円
- 高齢者福祉施設整備事業……………6,394万円
- 子育て世帯等臨時特別支援事業給付金……………5,250万円
- 高砂荘浴室等整備事業……………769万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金……………255万円
- 出産祝金支給事業……………130万円

◆衛生費

- 新型コロナウイルス感染症予防事業……………7,853万円
- 清掃センター長寿命化修繕工事……………1,092万円

◆労働費

- 雇用促進事業……………1,396万円

◆農林水産業費

- 畜産競争力強化整備事業……………2億770万円
- 道の駅レストラン整備事業……………1億8,369万円
- 草地畜産基盤整備事業……………1億6,248万円
- 森林雇用促進住宅整備事業……………2,300万円

◆商工費

- 経済活性化事業……………9,101万円
- 大橋上屋建設工事……………8,404万円
- くずまき型DMO事業……………1,886万円
- くずまき鍋開発・PR事業……………338万円

◆土木費

- 町道葛巻浦子内線道路改良工事……………1億5,745万円
- 町道坂待屋鷹ノ巣線道路長寿命化工事……………3,513万円
- 町道廻立向線道路改良工事……………2,999万円
- 上外川トンネル長寿命化修繕工事……………2,444万円

◆消防費

- 防災行政無線デジタル化工事……………5,756万円

◆教育費

- 学校情報通信技術環境整備事業……………7,117万円
- くずまき山村留学生寄宿舎管理・調理業務……………3,248万円
- 公営学習塾管理運営事業……………2,525万円
- 学び輝く“ひと”づくり支援事業……………1,873万円

◆災害復旧費

- 公共土木施設災害復旧事業……………9,914万円

特別会計の主な使いみち

◀農業集落排水事業>

- 町整備型浄化槽建設事業……………2,610万円

一般会計の歳入総額は92億5,003万円、前年度比4億1,895万円(4.3%)の減となりました。

対して、歳出総額は89億611万円、前年度比3,202万円(0.4%)の増となる決算となりました。

歳出を目的別に見ると、最も増加したのは民生費で、前年度比2億2,419万円(19.1%)の増となり、主な要因は、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業9,830万円(皆増)、高齢者福祉施設建設事業6,316万円(皆増)の増などによるものです。

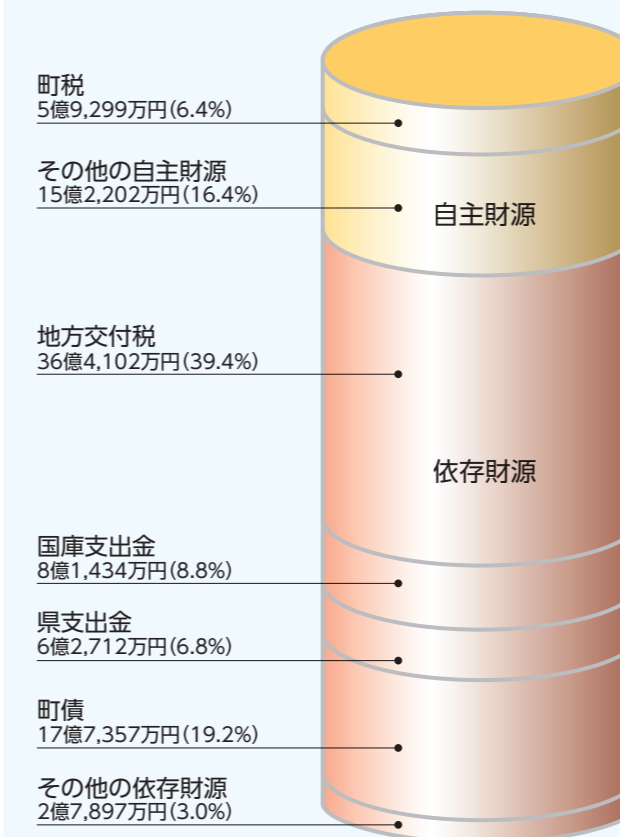
また、最も減少したのは総務費で、前年度比6億396万円(17.5%)の減となりました。主な要因は、特別定額給付金事業5億9,518万円(皆減)の減などによるものです。

5つの特別会計の歳出決算総額は、26億9,509万円、前年度比6,277万円(2.4%)の増となりました。一般会計と特別会計を合わせた歳出決算総額は116億120万円となり、前年度比9,479万円(0.8%)の増となりました。

一般会計の決算の状況

歳入総額 92億5,003万円

前年度比 4億1,895万円(4.3%)減



歳出総額 89億611万円

前年度比 3,202万円(0.4%)増

